

「ダイバーシティ就労研究プラットフォーム」の検討体制

1. フォーラム全体委員会

○会長： 清家篤（慶応義塾学事顧問、前塾長、日本私立学校振興・共済事業団理事長）

○委員

- ・ 生田正之（元厚生労働省職業安定局長）
- ・ 蒲原基道（前厚生労働省事務次官）
- ・ 菊池 馨実（早稲田大学大学院法学研究科長）
- ・ 駒村康平（慶應義塾大学経済学部教授）
- ・ 村木厚子（元厚生労働省事務次官）
- ・ 山田啓二（京都産業大学教授、前京都府知事）

2. 企画委員会

○委員長： 駒村康平（慶應義塾大学経済学部教授）

○委員

- ・ 朝日雅也（埼玉県立大学教授）
- ・ 有村秀一（障害者雇用企業支援協会理事）
- ・ 池田徹（生活クラブ風の村理事長）
- ・ 石崎由希子（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授）
- ・ 奥田知志（NPO 法人抱樸理事長）
- ・ 久保寺一男（就労継続支援 A 型事業所全国協議会理事長）
- ・ 丸物正直（全国重度障害者雇用事業所協会専務理事）
- ・ 村木太郎（全国シルバー人材センター事業協会専務理事）

3. 部会

(1) 「働きづらさをテーマにした、新たなダイバーシティ就労支援」制度の基本構想の検討

○ダイバーシティ就労全体構想構築部会 ○2019 年度発足予定。

(2) 「経済・財政・社会保障収支バランス」と働きづらさを抱える者の就労促進との関係を分析

○「経済・財政・社会保障収支、労働需給バランス」検討部会

(※) 2018 年度は、いろいろな選択肢があることを前提として、適切な推計方法は何かの検討。

○メンバー

- 小峰隆夫（大正大学教授）（部会長）
- 田中秀明（明治大学大学院グローバル・ガバナンス研究科教授）
- 山田篤裕（慶応義塾大学経済学部教授）
- 福本浩樹（三井住友海上火災保険顧問）
- 酒光一章（東京海上日動火災保険顧問）

(3) 海外の状況及び日本との国際比較を整理分析

○「海外の状況整理」部会

(※) 主要国の、障害者、生活困窮者、その他働きづらさを抱える者に対する就業対策、障害者だけから障害者を含む「ダイバーシティ就労化」の動向などを調査し、ダイバーシティ就労研究プラットフォームの検討に資する成果をまとめる。2018年度は、調査枠組みの構築。

○メンバー

松井亮輔（法政大学名誉教授）（部会長）

寺島彰（日本リハビリテーション協会参与）

永野仁美（上智大学法学部教授）

石崎由希子（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授）

西村淳（神奈川県立保健福祉大学教授）

(※) 今後、米国、オランダ、スウェーデン各国事情に詳しい者を加える。

(4) 「働きづらさ」の態様別に対応策を検討

以下のような態様の働きづらさを抱える者に対する就労支援策を検討する。2018年度は、現行の就労支援活動情報を全国から集積し、本プロジェクトにおける次年度以降の具体的支援策について検討する土台を構築する。2019年度以降、以下のような数部会を組織し、検討に着手する。

- 「障害・病気」（精神障害者、がん患者、難病患者、HIV、高次脳機能障害、若年認知症、依存症等）
- 「引きこもり、フリーター、ニート」（若年無業、中高年ニートを含む）
- 「65歳以上の高齢者」（定年退職者、高齢無業者等）
- 「その他」（刑余者、社会的養護施設退所者、LGBT、ホームレス、ネットカフェ難民等）

4. モデル事業

- ・首都圏と地方圏で、モデル事業を展開する。

(※) 2018年度は、実施予定自治体での事業実施に向けたヒアリング。

5. フォーラムの開催

(※) 2018年度は、2018年度の事業成果を公表し、ダイバーシティ就労の考え方を広めることを目的としたフォーラムの開催（2019年3月を予定）

6. オブザーバー

- 日本経済団体連合会 ○日本労働組合総連合会
- 日本商工会議所 ○全国中小企業団体中央会 ○中小企業家同友会全国協議会
- 全国重度障害者雇用事業所協会 ○障害者雇用企業支援協会
- 全国知事会 ○ヤマト福祉財団

7. サポート組織：(社団法人) ダイバーシティ就労支援機構